

日本老年歯科医学会長野支部セミナー

1. 日時 平成 27 年 2 月 28 日 (土) 10 時 00 分 ~ 16 時 00 分 (予定)
2. 会場 松本歯科大学 図書館 2 階 学生ホール
〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780 TEL.0263-51-2116

3. テーマ

「要介護高齢者への食事介助！」

4. 内容

. 10:00 ~ 10:50

「食事介助に必要な嚥下機能の基礎知識」

齧島 弘之 (松本歯科大学障害者歯科学 准教授)

要介護高齢者の食事介助においては、姿勢調節 食内容の決定 食具の使用
方法 ペーシングなど、様々な要因について配慮が必要となる。それぞれの要因の
基本を理解するためには、嚥下機能とその加齢変化についての正しい知識が必要であ
る。そこで、本セミナーのはじめに嚥下機能に関する基礎知識について概説する。

. 11:00 ~ 11:50

「要介護高齢者にみられる疾患 - 特徴と介助時の注意事項 - 」

武井 洋一 (中信松本病院 臨床研究部長 神経内科 医師)

全身状態の正しい把握により、要介護高齢者の身体や心理へかかる影響を軽減でき
る。それには、高齢者にみられる疾患の特徴を理解しておくことが大切である。本セ
ミナー参加者が日常介護することの多い疾患について説明し、あわせて食事介助時に
おける注意事項を指摘する。

. 12:50 ~ 13:50

「食事介助の注意点：全身状態への配慮と口腔内状態の把握」

菊谷 武 先生 (日本歯科大学臨床口腔機能学 教授)

要介護高齢者においては、疾患などの全身状態が介助時の姿勢を制限するなど様々
な制限が掛かってくる。また、残存歯の状態などの口腔内の環境も摂食嚥下機能に大
きく影響している。安全で楽しい食事を提供するために、それぞれの評価方法や対処
法および配慮すべき事項について講師の臨床経験の中からの実例を提示しながら、ポイ
ントを絞って説明する。

. 14:00 ~ 15:20

「要介護高齢者の食事介助の実際（相互実習）」

齧島 弘之（松本歯科大学障害者歯科学 准教授）

松本歯科大学障害者歯科学講座所属歯科医師数名

要介護高齢者の食事介助において、介助される高齢者の残存している口腔機能を活用できるようにするだけでなく、介助する側の負担も軽減できることが望ましい。セミナー参加者が両方の役割を演じるロールプレイ形式で相互実習を行う。高齢者役の設定には疾患や口腔機能の特徴を明確にし、疾患に応じた食事介助が実施できるよう実習内容を構成する。また、正しい介助方法だけでなく、誤った方法も体験してもらうことで、安全に対する意識を高めるようにしていく。

. 15:30 ~ 16:20

「食事介助時の危機管理」：講義と実習

小笠原 正（松本歯科大学障害者歯科学 教授）

全身状態のよくない要介護高齢者においては、突発的に窒息や全身状態の急変などに遭遇することも考えられる。そのような危機的状況に対応できるよう、周知すべき基礎知識や、あらかじめ準備しておくべき事項について概説し、緊急時の対処法について実習を行う。

. 16:20 ~ 16:30 質疑応答